

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立草加南高等学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	生徒の実態や学校の現状を踏まえた学校像であり、地域などの期待に応えるものとなっている。今後、グローバル教育など学校の特色や強みを生かしたものにできると更に良い。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	課題解決のための視点に立つ目標となっている。現状で地域と連携した様々な取組が行われていることを踏まえた上で、全校が共通の視点で設定する「開かれた学校づくりの取組」の視点を含めた目標を設定されたい。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・学年等のシートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。グローバル教育などを一層推進するため、分掌・教科間の連携を図り、教職員全体や学校関係者が参画するように更に工夫していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	評価運営委員会での課題の分析を基に、分掌・学年等と連携して方策を策定し、課題解決に取り組んでいる。方策がやや抽象的なものとなっているので、誰が、何を、いつまでに、どの程度行うのかといった視点から、より具体的なものにすることが望まれる。	
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長はグローバルな視点からの明確な学校経営の方針を持ち、教職員の共通理解を図りながら取り組んでいる。国内外での企業経営・経験を踏まえ、職員会議や校長通信等を通じて外国語科を持つ学校の課題解決の方向を示している。目標の達成に向けて更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	生徒・保護者アンケートなどを実施し、取組を検証するための情報収集に努めている。学力向上委員会など授業力向上を推進する組織を十分活用し、分掌・教科等と学校全体を連携させ、より組織的なPDCAサイクルを確立していただきたい。	
特記事項			